



# May-2012 Eclipse

2012年5月21日午前7時ごろから、全国で**部分日食**、東京や大阪などでは、**金環日食**をみることができます。日本で**金環日食**がみられるのは、なんと25年ぶり。その次に日本でみることができるのは18年後になります。この機会に、日食グラスをつけて、**金環日食**をみてみましょう。

## 日食ってなに？

日食とは、地球からみて月が太陽の前を横切るとき、月によって太陽がかくされることをいいます。太陽が月によって全部かくされることを「**皆既日食**」、月のまわりから太陽がはみ出してリングのようにみえるのが「**金環日食**」、太陽の一部分がかくされることを「**部分日食**」とよびます。みる場所によって、どのくらいかけるか、日食がはじまる時刻やいちばん大きく欠ける時刻、日食が終わる時刻もかわってきます。



皆既日食

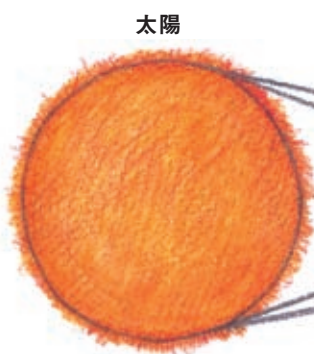


部分日食



金環日食

## 日食のしくみ



### 皆既日食・金環日食

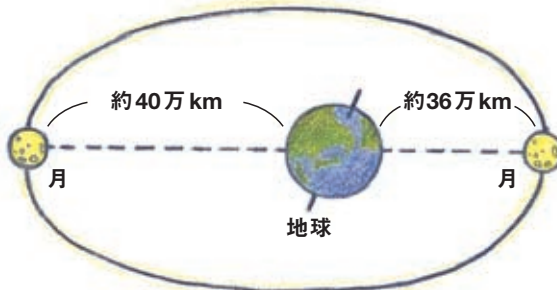
このなかでは、太陽に月が重なり、皆既日食や金環日食がみられます。

### 部分日食

このなかでは、太陽が部分的にかけてみえる部分日食がみられます。

### 金環日食と皆既日食のちがい

月の軌道が楕円のため、地球に近いときと遠いときでみかけの大きさがかわるからです。みかけの大きさが大きいと太陽をぜんぶかくして「皆既日食」に、小さいとかくしきれず「金環日食」になります。



## Eclipse Around The World 日食と世界の神話

日食のしくみが解明されていなかった昔、人々は太陽がかけていき真っ暗間になる日食をみて、おそれたり、おどろいたりしたはず。この不思議な現象から、たくさんの物語がうまれました。ここでは、世界各地で語られてきた神話を紹介します。

### 【古事記／日本】

太陽神アマテラスは弟のスサノオが大暴れしたことに怒り、天の岩戸に身を隠してしまいました。やがて世界が闇につつまれ、困った神たちが宴会を開き、アマテラスの気をひいてやっと岩戸からひっぱりだすことに成功。たちまち世界に光が戻ったといわれています。



### 【北歐神話】

太陽と月は、スコールとハティという2頭の怪狼によって、たえず追まわされています。この狼によって、太陽と月がのみこまれかけるときに起こるのが日食と月食。そのときには地上の人間たちはいっせいにあらんかぎりの物音をたてて、狼にのみこまれかけた太陽や月を吐きださせるそうです。



### 【シベリア／チュクチュ族】

ワタリガラスが天に昇って太陽を盗んで自分の口のなかに隠してしまいました。そして、世界を暗闇にしてしまいました。しかし、神に太陽を盗んだことがみつかって、あごの下をくすぐられ、ついに笑いだして太陽を吐きだしたといわれています。



### 【北アメリカ／マイドゥ族】

あるとき、太陽と月が東方の岩屋に隠れ、世界は真っ暗になりました。困った動物たちは、カギムシとフクロネズミとノミを岩屋のなかに送りこみ、太陽と月を苦しめさせたところ、かれらもついにたえきれず飛びだし、世界は明るくなったといわれています。



参考文献：「世界の始まりの物語」著・吉田敦彦（大和書房）、「黒い太陽のおはなし」文・察美千子 絵・佐竹美保（小学館）イラスト：高瀬尚也

# Vixen

みなさんに  
感動や喜びを届けたい

ビクセンは、天体望遠鏡、双眼鏡、顕微鏡、ルーペを扱う総合光学機器メーカー。社名は、サンタクロースのソリを引く1頭のトナカイの名前に由来し、サンタやトナカイのように、「みなさんに感動や喜びを届ける会社になりたい」という想いがこめられています。「自然科学応援企業」として、多くの方が自分の目で星や鳥を見ることや、虫や植物にふれることのきっかけづくりと、そこにある感動や楽しさを伝えていきます。

### ビクセンワンダーくらぶ「トナカイ」会員になろう！

ビクセンワンダーくらぶ「トナカイ」では、自然と親しむための情報やビクセン製品情報を発信するとともに、観望会などのイベントも開催。天体望遠鏡や双眼鏡といった光学機器を最大限に活用し、レンズを通してこそ体験できる感動的な世界を一緒に楽しみましょう。詳しくはビクセンウェブサイトまで。

[www.vixen.co.jp](http://www.vixen.co.jp)

### 日食グラス

太陽の光はたいへん強く、直接観察すると目を傷めてしまう可能性があります。ビクセンの日食グラスは、独自に開発した、目に有害な光線をカットする高品位遮光プレート「ソーラープロテック」を使用し、安全に太陽観察がおこなうことができます。



【お問い合わせ】ビクセンカスタマーサポート ☎ 04-2969-0222（平日 9:00～12:00/13:00～17:30）